

今週のメニュー

■トピックス

◇「いい樹脂の日 2015」 イベント開催

■随想

◇老後の資産になる家と負債になる家 (No.1)

CFP ファイナンシャルプランナー 熊木 美樹

■編集後記

■トピックス

◇「いい樹脂の日 2015」 イベント開催



化学業界にもいろいろな記念日があります。10月23日の「化学の日」についてご紹介 ([No.525 : 2015.11.5 発行](#)) しましたが、プラスチックの正しい知識の普及や広報活動に取り組んでいるプラスチックみらい研究会が、昨年から11月14日を「いい樹脂の日」としてイベントを開催しています。今年は、プラスチックのイメージアップを目的に東京都大田区のタートルホールで開催されました。

イベントは、明治大学商学部 高橋昭雄 教授のゼミの学生たちとのコラボレーション企画で、VECのほか、プラスチック工業連盟、(一社)プラスチック循環利用協会などが協賛して行われました。

まず入口の近くで訪問者を迎えてくれたのが、明治大学商学部2年生によるプラスチックの一生と題する、パネルとスライドを使った展示説明です。プラスチック製品の元となるペレットや多層構造になっているマヨネーズの容器をわかり易く展示したり、リサイクルのためにプラスチックを分別する原理の説明やリサイクル製品を机に並べての説明は、非常にわかり易いものでした。

コンビニで売られている弁当やお惣菜などの入ったプラスチック容器の多くは、真空成形法で作られています。が、(一社)日本プラスチック食品容器工業会では、その製作の原理がわかる小型成形機を会場に運びこんでデモンストレーションを行い関心を集めていました。

プラスチック造形作家として有名な当銀美奈子氏も展示に参加され、会場を訪れたみなさんにプラスチックの魅力とストローアートの製作を丁寧に指導されていました。



「プラスチックの一生」説明展示



ご指導いただいて製作したストロー作品

VEC は、[昨年までの PVC Design Award の受賞作品](#)、エアキン、プッシュン、漢字パズル、PCcell、デコバッグなどを展示し、塩ビの特性とデザイン性の良さを PR しました。来場者は作品一つ一つを手に取り塩ビからできる作品の多様さに興味を示していました。また、来場者に配布したノベルティのサクラを手にとって自分で組立て、断面が光る集光性を楽しんでおられました。



VEC の展示ブース

プラスチック産業を支える原料から加工、製造、リサイクル、産廃、そして環境、教育と縦横幅広い関係の交流をもち、プラスチックの可能性を広げる活動として催されましたが、今後もこうした機会を利用し、プラスチックの良さを知っていただき、そして塩ビを正しく理解していただくとともに新しい可能性について紹介していきたいと思えます。

■ 随想

◇老後の資産になる家と負債になる家 (No.1)

CFP ファイナンシャルプランナー 熊木 美樹

私が住宅ローンのアドバイスをするようになって 8 年になりますが、とくに近年増えてきたのが 100%融資です。つまり、自信たっぷりに「自己資金 0 で家が欲しい！」という希望です。ある工務店さんが、お客様から頭金に 1000 円払うから家を建てて欲しいと言われて困ったという話をしてくださいました。住宅購入が大きい借金だという感覚が完全にズレていますね。



(※イメージ)

相談者の属性をみると晩婚化の影響か、子供が生まれたばかりの状況ですすでに両親は 35 歳以降の年齢であることも多く見受けられます。以前はこのような夫婦の場合、夫婦共働きで会社のポジション的にも一定以上で安定した収入であることが多かったのですが、最近はどちらかが非正規雇用、もしくは両方が非正規雇用という例も増えました。

さらに驚くのがクレジットカードなどの既存ローンの多さです。多い人では、車、ショッピング、情報端末機器、旅行などいくつものローンを組んでおり、預貯金は 0 ではないものの建築費へ使うだけは持っていない為に金利が低い住宅ローンは全額借りようと考えています。こういう相談者の多くは、「家賃並みで住宅ローンが組める。」「低所得でもマイホームが手に入る。」といった広告に踊らされてやってきます。情報の氾濫と思える点ですが、少額でも既存ローンをたくさん組んでいることはローン審査には不利になります。

この中でローンだと認識していないローンもあります。たとえばタブレットやスマートフォンを購入するときに使用料や通話料にプラスして端末代を支払っている例が多いです。

これは立派なローンなので返済負担率の計算の時には負債として既存ローンに加えます。それで審査 NG になる人も少なくありません。審査が OK でも、土地の決済が迫っている場合には、この既存ローンを全額、もしくはどれかを完済することが条件になることがあります。車の完済は直ぐには出来なくてもスマホ代ならできますということで返済するのですが、直ぐに完済の確認が取れない、完済証明書が発行されないなどで、不動産屋さんからは「期限までに支払わないと違約金が発生します。」と脅され、夢のマイホームプランがいきなり現実の困難さに直面する事態となります。

こうなってしまうと「長期優良住宅」や「低炭素住宅」などの認定住宅を考える余裕もなく、家が資産なのか負債なのかが判断できなくなります。もし、第三者の評価が無い家を購入した場合、その家の 10 年後 20 年後の価値はどのように評価されるでしょうか。建ててくれた大工さんがずっと元気で証明してくれればいいのですが、そうもいきませんね。やはり証明書は大事です。

こうしたことを招かないためにも、本当の情報を手に入れて欲しいと思います。しかし、相談窓口がどこにあるかわからなかったと後々私の所へ御紹介で来られる方が少なくありません。「もう少し早くに相談して欲しかった。」と思います。適切な時期に適切な情報こそが大切です。

(つづく)

■ 編集後記

たまたまでかけた先の近くに「六義園」があったので、丁度みごろと立ち寄りました。松の碧、池の碧のなかでところどころ真っ赤なもみじがとてもきれいでした。池に浮かんでいる黒白の鳥があまり見ない鳥でしたので、早速検索、キンクロハジロという鴨の一種で、この時期に北から渡ってくるようです。この庭は、おおよそ 350 年ほど前の江戸中期柳沢吉保による造園ということですが、ひょっとしたら、この鳥は当時から代々ずっとこの池の紅葉を楽しみにしていたのかもしれない。(風蘭)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp